

CHINESE MANAGEMENT & MARKETING SCHOOL

—華人経営研究—

中国・アジア圏での ビジネスをどう展開するか？

“一帯一路”・デジタル化・AI活用で拡大する中国経済！
日本的経営だけでは勝てない中国・華人圏ビジネス！

華人経営の本質と日本的経営の真髄を知れば、
中国・華人圏ビジネスに憂いなし！
チャイニーズ・マネジメント&マーケティング・スクールは
そのノウハウを提供します！

第14期

2019年5月～10月

主催 NPO法人日本香港協会
二松學舎大学



二松學舎大學

後援 JETRO日本貿易振興機構
東京商工会議所
日本商工会議所

CHINESE MANAGEMENT AND MARKETING SCHOOL

— 華人経営研究 —

開講の主旨と狙い

購買力が飛躍的に増大する中国市場は、シェア拡大を目指す世界の企業がひしめく一大戦場となってきました。また、中国政府もデジタル化、AI活用をベースに拡大する自国企業を“一帯一路”政策で後押ししています。

日本企業にとって日本の経営だけでは勝てない新しいグローバル化時代の到来です。かかる経済環境の変化を先取りして、この度中国経済を動かす華人経営の本質を解明する目的で、日本香港協会は2018年「華人経営研究」を再開致しました。本スクールは2003年に香港大学との共催で、関西に開講したのが始まりですが、中国とゆかりの深い二松學舎大学との共催で開講することになりました。

本講の特徴はカリキュラムとチャイニーズの捉え方にあります。カリキュラムは理論編、実践編の2分野から構成され、理論編では華人社会の基礎概念を歴史・思想・社会学などから抽出して学習し、華人の経営原理の理解力をつけます。実践編では現在活躍中の経済人を中心に華人の経営行動を分析します。また、今回も“香港コネクション”講座を設けて東アジア中心に広がる華人経営圏の分析を試みます。当会は新たに到来する日中競争・協調時代にふさわしい人材の育成を社会的役割と考えています。



ご挨拶



日本香港協会 理事長
原田 光夫 氏

日本香港協会は、日本と香港との間の文化・経済・社会面の交流の輪を広げることを目的に、北海道から沖縄まで国内主要都市11ヶ所に設立され、直近の年末現在で1107名の会員が香港や中国・アジアに関するビジネスセミナーや会員同士の懇親行事を楽しんでいます。言わば“香港大好き人間”の集まりであります。また、香港やアジアとのビジネスを志向されている方には当会が所属する香港貿易発展局が注力している海外とのビジネスマッチングサービスもご利用頂けます。

その一環としてこの度、社会教育の推進を図り、学術文化の振興を図る目的で、「華人経営講座」-Chinese Management & Marketing School(CMMS)-を2018年に再開することにいたしました。皆様には奮ってご参加頂くようお願い申し上げます。

さらに、当会は香港貿易発展局の援助の下に設立された香港ビジネス協会世界連盟（世界30ヶ国、41協会、メンバー数13,000人以上）に所属しており、毎年11月末—12月上旬に香港で開催される香港フォーラムに世界各地から400名以上の会員が参加して最近の香港情勢・中国・アジアのビジネス戦略などを学び、海外会員と友好的な交流を行っております。ここ10年来、アジアの新たな潮流として華人ネットワークが経済活動で威力を発揮しており、アジアを中心に世界経済に大きなインパクトを与える中国の「一帯一路」も動き出しました。日本の皆さまの香港への関心も高まってきており、香港フォーラムには毎年100人以上が参加し、国別参加数では日本が最大です。これにも奮ってご参加頂くようお願い申し上げます。



二松學舎大学 学長
菅原 淳子 氏

二松學舎大学は、1877年（明治10年）に、漢学者であり明治法曹界の重鎮でもあった三島中洲が、九段の地に漢学塾二松學舎を創立したことにはじまります。「己ヲ修メ人ヲ治メ一世ニ有用ナル人物ヲ養成スル」という建学の精神は、幕末から明治の大変革期にあって、若者達が西欧文明の摂取にばかり熱心になる中、真の国際化、異文化の理解には、一方の軸に確りとした自己の確立が必要であるという想いから、漢学教育により東洋の精神に基づく人格の陶冶を目指したものです。

漢学塾は昭和3年に中等学校の国語科教員を養成する専門学校となり、昭和24年に新制大学に移行しました。本学は専門学校時代から『国漢の二松學舎』と謳われ、国語や漢文の教員を多数輩出してきましたが、今日、中国文学科では中国の文学や哲学に加え中国語教育に、また国際政治経済学部では東アジアの政治や経済に関する教育にも力を入れ、北京大学をはじめ中国の複数の大学と協定を結び、学生の交換留学や学術交流を活発に行っています。

学術面では、21世紀COEプログラム「日本漢文学研究の世界的拠点の構築」に続いて、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に「近代日本の『知』の形成と漢学」が採択されるなど、世界的に注目を集める研究成果を挙げ、ケンブリッジ大学等ヨーロッパ各国の大学と日本漢学を中心とした学術交流も進めています。

グローバル化が進展する中で、世界は発展余地の大きい中国・アジア圏に注目しています。このような東アジアに関する教育研究の伝統と学術の蓄積を持つ二松學舎大学において、社会教育の推進を図り、学術文化の振興を図る目的で、「華人経営研究」(Chinese Management & Marketing School)が開講されることは、大変意義深く縁を感じるところであります。

二松學舎大学を舞台とするこの華人経営研究において、真の国際化、異文化の理解のための軸を固め、チャイナウォッチの最前線で活躍する専門家の分析やネットワークを得て、受講生の皆さんが活躍の場をさらに広げられることを期待します。

●受講者からのコメント

※社名・肩書は受講当時

CMMS受講前の自分

中国人の思考性や商慣習、交渉時のルール・傾向・決着に至るまでのプロセスなど、これまでの営業業務にて経験してきたことをベースに、中国でビジネスを展開してきました。つまり、中国人の本質的な部分をじっくり考えることなく、営業活動を進めていたため、たまたま成功することもあれば、理由が定かでない失敗もあった。

CMMS受講後の自分

講義の前半部分で、中国人の本質的な考え方や宗教観、大事にすること、優先するもの等、理論を体系的に深く学び、後半では、実践に基づいた各講師のご経験や最新ビジネス状況等を学びました。前半の理論があったからこそ実際のビジネスにおいて、中国人の考え方や行動が理解できる、また発見できることもありました。

中国人とのビジネスにおいては、金儲けが優先される中で、長い付き合いや恩というものも大事にするという場面がこれまでもみられましたが、そもそも中国人も、本質的に孝・忠・主従・感性等を大事にする考え方があることがわかり、眉唾にとらえなくとも、信用できることを感じました。

帝人株式会社 炭素繊維事業本部 営業部門 成形材料営業部 成形材料販売課長
三浦 正文氏 (平成30年修了)

CMMS受講前の自分

(1)一般メディアから得られる漠然とした中国に関する知識しか持たず、中国人(華人)の文化的・歴史的なバックグラウンドを深く考える事は無かった。

(2)中国人(華人)とのコミュニケーションする場合、外国人(非日本人)としか考えず、彼ら独自の考え方、習慣、文化まで意識していなかった。

CMMS受講後の自分

(1)中国人(華人)が持つ文化、歴史、考え方の理解を深める事によって、一つ一つの行動の裏にある背景・意味を理解出来るようになった。

(2)特に、実際のビジネスの現場において、中国人(華人)の人々とやりとりする際に、“関係”について意識する事によって、客観的に自分の置かれているポジションを認識する事が出来、今まで以上に良好な関係を早く作れる事が出来るようになった。

東レ株式会社 樹脂グローバルマーケティング室 宮澤 貴裕氏 (平成30年修了)

「関係」や「面子」に関しては、中国の人々と接する際、注意してきたつもりである。しかし、「公と私」「合股」の概念、古典思想を踏まえての思考回路、価値観の一端を知り、華人と対する際にその言動の源泉を汲もうという気持ち、余裕が少し出たと思う。中国に関する報道に対しても、彼らの採る政策、行動の裏側にあるものが何か?をより深く考えるようになった。

蝶理株式会社 繊維業務企画部部長 武蔵 扶実氏 (平成27年修了)

今回のセミナーを通じて、現代中国人の考え方、行動様式をその背景にある歴史、地理、思想的背景から理解できた。特に前半の人文的な講義は、当代一流の学者から直接、基礎的な講義を頂くことで、理解を深めることができると共に改めて関連する書類を読み直す良い機会となった。後半は、中国で実際に事業をやられている方、やって来られた方の経験に基づく講義で、非常に興味深く聞くことができた。西洋思想に慣れすぎた私にとって、中国人は異質で特異な考え・行動する人たちで、理解できないと捉えていたが、こちらの知識が足りないだけではないかと感じている。

東レ株式会社 生産技術第2部部長 池上 哲夫氏 (平成27年修了)

受講前の私の中国観は、マスコミ情報を真に受けて報道に毒されていた状態だったといっても過言ではなかった。しかしCMMSの講義を受けることで、マスコミの報道が常に正しいものではないと気付くのにそう時間はかからなかった。

複雑に入り組んだ中国社会・市場・企業の特異性や華人経済圏を取り巻く様々な経営問題に対して、歴史・社会・古典思想等の伝統的な要素をベースに毎回異なる切り口(テーマ)から初心者にも分かりやすい内容の講義であった。また実践編では華人ビジネスの第一線で活躍する方々が、専門実務について講義して頂き個人的に非常に有り難いと感じた。

日本がビジネスを行う上で、中国は避けては通れないビジネスパートナーである。しかしながら、このような時代だからこそ、中国ビジネスを推進するにあたって、前もってCMMSの講義からグアンシ構築の重要性や国情、兵法、儒教的考えを知ることが出来たことは何事にも変え難い経験であったと考えている。

塩野義製薬株式会社 森 禎宏氏 (平成25年修了)

関連団体紹介

〈日本香港協会〉

日本香港協会は日本と香港との文化・経済・社会面での交流の輪を広げることを目的に民間の任意団体として、1988年に香港駐在経験者とその家族が中心となって設立され、その後2002年に特定非営利法人(NPO)として東京都知事の認証を得ました。この間、1989年以降、関西・中京・九州・北海道・宮城・沖縄・広島・新潟と各地に協会が設立され、2016年には高知、2017年には山形日本香港協会が発足しました。

また、前述の香港ビジネス協会世界連盟(Federation of HongKong Business Association通称“Federation”)は香港に本部を置いており、2000年に香港貿易発展局がそれらを統括して発足した非営利組織です。そのメンバーの方々は香港・中国と強力なビジネス関係を持つ貿易関係者(バイヤ専門家など)です。当会に入会されると自動的にFederationの会員として登録されます。会員の皆さまには年間を通じてFederation主催の国際的なイベントにご招待されます。

〈二松學舎大学〉

二松學舎大学は、明治10年10月10日、明治を代表する漢学者三島中洲が、現在の大学九段キャンパスの地(当時 麹町一番地)に漢学塾二松學舎を創設したことに始まり、爾来、漢学塾、専門学校、現在に続く大学の三つの時代を経てきた。この間、国語や書道、中国語の各教科を担当する中等教育の教員養成に努め「国漢の二松學舎」と称えられるなど、東洋の精神文化を基盤とした人間教育の実践を行ってきた。

また、平成3年に国際政治経済学部を、同13年には同研究科を設置したほか、平成29年には文学部に都市文化デザイン学科を、平成30年には国際政治経済学部国際経営学科をそれぞれ新たに開設するなど、大学の機能強化・拡充を図り、多様化する社会の要請に応えている。

二松學舎大学は、平成29年10月10日、創立140周年を迎えた。創立者三島中洲の「育英」の志を未来へと繋ぎ、長い歴史と伝統、そして新世紀へ向けた発展の礎を確固たるものにすべくこれからの140年を形作るN2030PLANを策定し、その遂行にまい進している。

第14期 募集内容

対 象 者	中国事業を展開する企業経営者、幹部、管理部門責任者、中国ビジネス担当者、中国赴任予定者、弁護士、公認会計士、税理士、大学生、大学院生等		
開 講 期 間	2019年5月～2019年10月(詳細別紙参照)	受講日時と費用	別紙参照
場 所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-2-4 二松學舎大学 九段3号館(地図・最終ページ参照)		

※本スクールの理論編・実践編を全講義取得され、出席率が70%以上の方には、修了証書、記念品等を授与させて頂く予定です。

そして、あなたが*Chinese*

まずは文化や思想の異なる相手を知る。
当代一流の教授陣が講義します。

中小企業、ベンチャー、大企業の海外事業に携わる皆さまへ。

古代から現代まで思想文化と歴史を概観し、そこから派生した「国情」
「儒教」「中国兵法」「華人ネットワーク」のパラダイムから解明します。

それにより、中国人特有の“関係”“面子”“人情”の本質が理解できて、あなたのビジネスに大いに役立ちます。

理論編



大阪大学大学院
法学研究科教授
田中 仁氏

国情



東京大学文化研究所・
大学院情報学環教授
園田 茂人氏



慶応義塾大学
法学部教授
高橋 伸夫氏



東京大学大学院
人文社会系研究科教授
小島 毅氏

儒教・道教



二松學舎大学
文学部教授
牧角 悦子氏



大阪大学大学院
文学研究科教授
湯浅 邦弘氏

中国兵法 (孫子・韓非子)



中国中山アジア太平洋学院
学院長
濱下 武志氏

華人 ネットワーク



甲南大学
経営学部教授
杉田 俊明氏

se Business の舵を取る。

実践編

中国事業一さて、どのように形成するのか？
マーケットはどのように攻略するのか？

購買力が飛躍的に増大する中国市場、デジタル化によって海外にも事業拡大する中国企業、“一帯一路”や華人ネットワークを活用して世界に拡大する華人経済圏。これに対して日本の製造メーカー、小売業、中小企業がどう事業拡大するかを「理論編」で学んだ各種概念を用いて、実際に経済界で活躍する講師から確認できます。毎週木曜日夜2時間、6ヶ月経てば、あなたも中華圏エキスパートとして、企業内コンサルタントとしてもご活躍できます。奮ってご応募下さい。

株式会社野村資本市場研究所
シニアフェロー
関 志雄 氏



中国経済分析



法政大学経営大学院
教授
松田 庄平 氏

桜美林大学大学院
経営学研究科教授
雷 海涛 氏



中国企業台頭



亜細亜大学
都市創造学部教授
後藤 康浩 氏



元金融庁審議官
浦西 友義 氏

特別講義

香港貿易發展局
東京事務所長
伊東 正裕 氏



A-1 ベーカリー
(香港) 社長
田淵 義和 氏

中国市場攻略

株式会社セブン・イレブン・ジャパン
顧問
萬歳 教公 氏



早稲田大学
法学学術院教授
萬歳 寛之 氏



日本貿易振興機構
企画部海外地域戦略主幹(北東アジア)
中井 邦尚 氏

香港 コネクション



日本香港協会理事
張 樹栄 氏

理論編で学んだ

各種概念を用いて

実践講師の話を再確認

講座内容

理論編 (第1回～第10回)		実践編 (第11回～第20回)	
開講式	開講式辞 第14期CMMS主旨説明	第 11 回	中国企業の台頭Ⅰ 一帯一路フェーズⅡ
第 1 回	中国史「中国人社会の歴史的考察」 中国の地政学的位置と歴史変動から見た中国人社会の特性と将来展望	第 12 回	中国経済分析Ⅰ「中国経済の現状と展望」 中国経済の真の課題は何か、社会主義市場経済の実相を解明し、その課題と近未来を展望する
第 2 回	中国思想史 「中国における天思想と公私の概念について」 中国独特の天思想と日中の公私概念の差異を解説する	第 13 回	中国企業の台頭Ⅱ モノ作りからIT製造・Eコマースに転嫁しつつある中国企業の現状と未来
第 3 回	中国人論「中国人の心理と行動」 現代華人・中国人の深層心理の源泉とその行動規範の特異性を学ぶ	第 14 回	中国市場攻略Ⅰ「中華圏ビジネスを点と線で繋ぐ」 香港・中国・タイを点と線で繋いで市場ニーズに対応する
第 4 回	中国政治「中国の政治制度を考える」 中国政治の特質と課題の本質を論じ、国情とは何かを学ぶ	第 15 回	中国市場攻略Ⅱ「対中交渉戦略の要諦」 中国思想の深奥から解き明かす必勝の対華人交渉術、事業形成の極意を学ぶ
第 5 回	中国思想Ⅰ「儒教」 中国の社会と文化における儒教思想の役割。その歴史の変遷と現代における再評価を考える	第 16 回	中国市場攻略Ⅲ「国際法等から考察する」 一帯一路 他
第 6 回	中国思想Ⅱ「道教」 中国の社会と文化における道教思想の役割。その歴史の変遷と現代における再評価を考える	第 17 回	香港コネクション 「中国・アジアとの関係が深まる香港」 双方向・多方面でのビジネス拠点としての香港を活用する
第 7 回	中国思想Ⅲ「孫子と兵法三十六計」 華人の戦略的思考の源泉を「孫子」などの兵法に求め、その「戦わずして勝つ」不戦の兵法の本質を知る	第 18 回	特別講義Ⅰ (一帯一路のその後 他)
第 8 回	華人ネットワークⅠ 華僑送金の解明から、そのネットワークの歴史的概観と華僑経営の特色としての「合股」概念を知る	第 19 回	特別講義Ⅱ 政策担当者からみた1970年代以降の日中経済政策の比較
第 9 回	中国思想Ⅳ「韓非子」(法家) 始皇帝と韓非子との出会いが中国政治の本質である法家思想を確立した	第 20 回	中国経済分析Ⅱ 中国政府が推進する人民元の国際化について
第 10 回	華人ネットワークⅡ 「グローバル化する華人ネットワーク」果たして日本企業は生き残れるのか？	※ 講義時間は午後7時～9時00分(延長の場合あり)。 ※ 開講式、修了式(午後6時30分～9時)の後、懇親会を行う場合もあります(各自負担)。 ※ 日程及び講師・講義内容に変更の可能性がありますので、予めご了承ください。 ※ 受講者には毎回モデレーターが参加し、華人企業経営の4つのパラダイム(国情、儒教、兵法、華人ネットワーク)を駆使して講義の狙いを解析し、受講者の理解を支えます。	

講師紹介

中国史

田中 仁氏

大阪大学大学院 法学研究科 教授
広島大学卒業後、同大学院文学研究科（東洋史学専攻）に進学、04年博士（国際学）。主な研究分野は1930年代の中国政治史で中国共産党や中国政治に造詣が深い。

中国人論

園田 茂人氏

東京大学東洋文化研究所・大学院教授
東京大学部文学部助手、中央大学文学部教授、早稲田大学大学院アジア太平洋研究所教授などを経て09年より現職、東京大学副学長歴任。専門はアジアの社会階層比較、日系企業のアジア進出と文化の変化など

中国思想Ⅰ「儒教」

牧角 悦子氏

二松學舎大学 文学部教授 文学博士
九州大学大学院文学研究科中国文学専攻、同大学院博士課程後期課中退、2001年二松學舎大学教授、2010年「聞一多研究」で京大文学博士、現在東アジア学術総合研究所所長兼務、日本聞一多学会代表幹事、六朝学術学会理事、日本中国学会・日本儒教学会評議員。

中国思想Ⅲ「孫子」

湯浅 邦弘氏

大阪大学大学院 文学研究科 教授
大阪大学大学院修了、博士（文学）、専攻は中国思想史。著書に「諸子百家」「論語」「中国の世界遺産を旅する」（中央公論新社）「孫氏・三十六計」「孫氏の兵法」（角川ソフィア文庫）「軍国日本と孫氏」（ちくま新書）など多数。

中国思想Ⅳ「韓非子」

湯浅 邦弘氏

大阪大学大学院 文学研究科 教授
大阪大学大学院修了、博士（文学）、専攻は中国思想史。著書に「諸子百家」「論語」「中国の世界遺産を旅する」（中央公論新社）「孫氏・三十六計」「孫氏の兵法」（角川ソフィア文庫）「軍国日本と孫氏」（ちくま新書）など多数。

中国企業の台頭Ⅰ

後藤 康浩氏

亜細亜大学都市創造学部 教授
早稲田大学政経学部卒、豪ボンド大学院MBA、84年日本経済新聞社入社、88年バーレーン／90年ロンドン（欧州総局）駐在、97年北京（中国総局）駐在、02年論説委員／編集局アジア部長、10年編集委員、16年から現職、テレビ東京「未来世紀ジパング」Navigator。

中国企業の台頭Ⅱ

雷 海清氏

桜美林大学大学院 経営学研究科 教授
1980年浙江大学工業電子学科卒
1992年東京大学大学院電子工学専攻 博士課程修了
1992-2018年東芝中国室長

中国市場攻略Ⅱ

萬歳 教公氏

（株）セブン-イレブン・ジャパン 顧問
早稲田大学第一法学部卒、80年（株）セブン-イレブン・ジャパン入社、97年常務取締役総務本部長、04年セブン-イレブン北京有限会社董事長、（株）セブン-イレブン・総務本部長兼中国室長、06年（株）セブン&アイ・ホールディングス専務執行役員法務部管掌兼務、08年から現職。

香港コネクションⅠ

中井 邦尚氏

日本貿易振興機構 企画部海外地域戦略主幹（北東アジア）
96年一橋大学経済学部卒、日本貿易振興会（現日本貿易振興機構）入会、2000年清華大学留学、02年北京事務所にて中国全般の調査担当、08年海外調査部、中国北アジア課長代理、14年成都事務所長、15年香港事務所次長。18年から現職。

特別講義Ⅱ

浦西 友義氏

元金融庁審議官
東京大学法学部卒
1974年大蔵省（現財務省）入省
在英国大使館公使、東京証券取引所常務等を歴任
直近はビックカメラ元取締役

中国思想史

小島 毅氏

東京大学大学院人文社会系研究科教授 文学博士
87年東京大学大学院人文科学研究修士課程修了、東京大学東洋文化研究所助手、徳島大学総合科学部助教授を経て、96年東京大学大学院人文社会系研究科助教授。専門は中国思想史（儒教史、東アジア王権論）

中国政治

高橋 伸夫氏

慶應義塾大学法学部教授 東アジア研究所々長
84年筑波大学院地域研究科修士課程修了、87年慶應義塾大学院法学研究科博士課程取得、98年同助教授、2005年教授。中国の現代政治制度への造詣が深く、定期的に中国の大学へ学生を連れてゆき学術交流している。

中国思想Ⅱ「道教」

牧角 悦子氏

二松學舎大学 文学部教授 文学博士
九州大学大学院文学研究科中国文学専攻、同大学院博士課程後期課中退、2001年二松學舎大学教授、2010年「聞一多研究」で京大文学博士、現在東アジア学術総合研究所所長兼務、日本聞一多学会代表幹事、六朝学術学会理事、日本中国学会・日本儒教学会評議員。

華人ネットワークⅠ

濱下 武志氏

中国アジア太平洋学院 院長
東京大学大学院修士課程修了、香港大学勤務を経て一橋大学助教授、東京大学東洋文化研究所教授、京都大学東南アジアセンター教授、龍谷大学国際文化部教授、東京大学名誉教授。

華人ネットワークⅡ

杉田 俊明氏

甲南大学経営学部 教授
立命館大学大学院国際関係研究科修士課程修了、商社コンサルタント会社を経て、中国中山大学管理学院、南開大学経済学院、復旦大学経済学院の客員教授。幼少の頃から13年間の北京を含めて通算25年間滞在、2011-12年度NHKラジオ中国語講座講師。

中国経済分析Ⅰ

関 志雄氏

（株）野村資本市場研究所 シニアフェロー
東京大学経済学博士、87年香港上海銀行本社経済調査部エコノミスト、87年野村総合研究所入社、経済調査部主任研究員、経済調査部アジア調査室長を経て01年独立行政法人経済産業研究所上席研究員、04年から現職。

中国市場攻略Ⅰ

田淵 義和氏

A-1 Bakery Co.,(HK)Ltd COO
龍谷大学経営学部卒、アパレルメーカーを経て、A-1 Bakery(HK)のCOOとして活躍中の若き経営者。香港・中国華南、タイバンコクに60数店舗のベーカリー、レストランのリテールビジネスと食品の卸事業を展開中。

中国市場攻略Ⅲ

萬歳 寛之氏

早稲田大学法学学術院教授
1995年早稲田大学法学部卒
研究テーマ：「国家の国際違法行為責任」（2016年安達峰一郎記念賞受賞）
国際法研究会委員（外務省国際法局）

特別講義Ⅰ

伊東 正裕氏

香港貿易発展局 東京事務所長
85年味の素入社、台湾・香港・広州・上海駐在を含め14年間中国関連の業務を歴任、06年香港貿易発展局マーケティングマネージャー、07年東京事務所次長、12年から現職、英国レスター大学経営学MBA、関西・中京・高知の各日本香港協会理事兼任 大阪事務所長、18年から現職。

中国経済分析Ⅱ

松田 庄平氏

法政大学 経営大学院 教授
77年一橋大学商学部卒、東京銀行入行、89年東銀リース香港社長、92年香港上海銀行（現HSBC）入行／日系法人本部長／大阪支店長、96年米国公認会計士、英国Surrey大学MBA、2016年から現職。

孫氏曰く、

彼れを知り己れを知らば、百戦して殆うからず。

彼れを知らずして己れを知らば、一勝一負す。

彼れを知らず己れを知らざれば、戦う毎に必ず殆うし。



●講習会場

二松學舎大学 九段3号館

〒102-0074

東京都千代田区九段南2-2-4

地下鉄半蔵門線・東西線「九段下」駅 2番出口

●事務局

NPO法人日本香港協会

〒102-0083

東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル 6F (香港貿易發展局内)

TEL : 03-5210-5870

